

News Release

2007年7月19日

東京スター銀行 分譲型高齢者向けマンションに開発型ノンリコースローンを組成 ～シニアビジネスに対する取組みを更に強化～

株式会社東京スター銀行(以下東京スター銀行、本社 東京都港区赤坂、代表執行役 CEO タッド・バッジ)はこのたび、分譲型高齢者向けマンションに対して、開発型ノンリコースローンを組成し、融資を実行致しました。

本物件は所有権を取得する分譲型の高齢者向けマンションであり、入居一時金を支払って施設の終身利用権を取得するタイプが主流のシニア向け施設の形態としては珍しく、専有部分についての設備の設置やクロスや張替えといったリフォームや、売却といった処分、あるいは相続も可能となります。

さらに、本物件の資金調達方法としては、開発リスクを分散するため開発型ノンリコースローンのスキームを採用しており、分譲型高齢者向けマンションにプロジェクトファイナンスを組み合わせた、非常にユニークな案件となっております。

本件は、株式会社キャピタルメディカ(東京都港区、代表取締役 古川淳)のアレンジのもと、中銀コーポレーション株式会社(東京都中央区、代表取締役社長 渡辺蔵人)が企画・販売する「中銀ライフケアシリーズ(総戸数 106 戸)」の分譲を予定するものです。分譲後は、これまでの中銀ライフケアシリーズで培われた経験を活かし、健康管理サービス、食事サービス、生活支援サービス、相談・助言サービス等の充実したサービスが入居者に提供されます。竣工予定地は、北海道札幌市の旧アサヒビール百景園跡地であり、豊かな自然環境に恵まれ、隣接する天神山の散策路で四季折々の花を楽しめるという注目のエリアです。

東京スター銀行では、シニア/ヘルスケアビジネスを重点分野と位置付け、専門チームを設置しています。介護事業者向け及び有料老人ホーム向けファンドへのノンリコースファイナンス等において、全国を対象エリアとして実績を上げております。本件においては、「中銀ライフケアシリーズ」の事業特性/運営体制を高く評価し、新たなファイナンスを提供することによって、来る高齢化社会をより快適なものとする環境創造に貢献したものと考えております。

今後も、東京スター銀行は、シニア/ヘルスケア関連サービス事業者へのファイナンス提供を通じて、高齢化社会の進展に伴い、質・量の両面から高まる、高齢者向け居住施設のファイナンスニーズに応えて参ります。

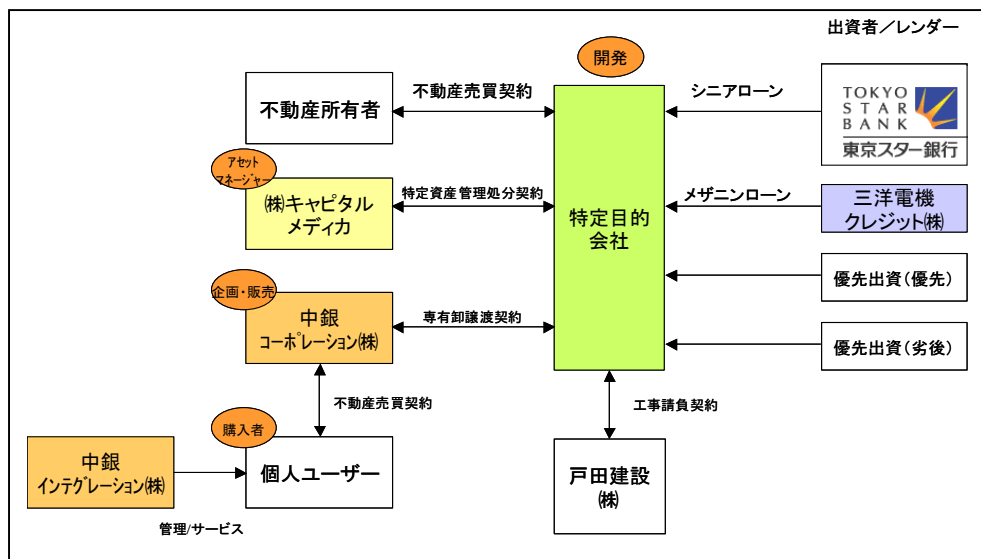
■株式会社キャピタルメディカ（ <http://capimedi.com/index.html> ）

キャピタルメディカは、医療法人の再生を支援するために、2005年2月に設立。医業／金融／不動産、各分野の専門家が集まり、高い次元での再生支援を行っています。

■中銀コーポレーション株式会社（ <http://www.nakagin.co.jp/sapporo/1/top.html> ）

中銀グループは、マンション業界の草分けとして、一般集合住宅「マンション」をはじめとし、共同所有方式の会員制ホテル「東京ビュック」、中高齢者専用マンション「ライフケア」、さらには、より高度なケアを提供する介護専用施設「ケアホテル」などを展開。中銀コーポレーションは中高齢者用分譲マンション「ライフケア」、「ケアホテル」、一般住宅マンションの企画・分譲・コンサルティングを行っています。

【スキーム図】



以上